

R7霧島市立医師会医療センター外構1期整備工事

【電気】

KUME
SEKKI 株式会社 久米設計

2023年 1月 20日

図面リスト

訂正	・	KUME SEKKEI 株式会社 久米設計	日付 2023.01.20	一級建築士 登録番号 第266585号 高橋 剛	件名 R7霧島市立医師会医療センター外構1期整備工事(電気)	登録番号 0190403
	・		PA 井上裕量 町野陽一郎			
	・		担当 深井憲治, 下田健也	設備関係規定に適合することを確認した者:		図面名 図面リスト
	・		山内浩紀	設備設計一級建築士 建築士登交付番号 第2294号 深井憲治		縮尺 A1判 --- A3判 ---
	・					図面番号 E-000

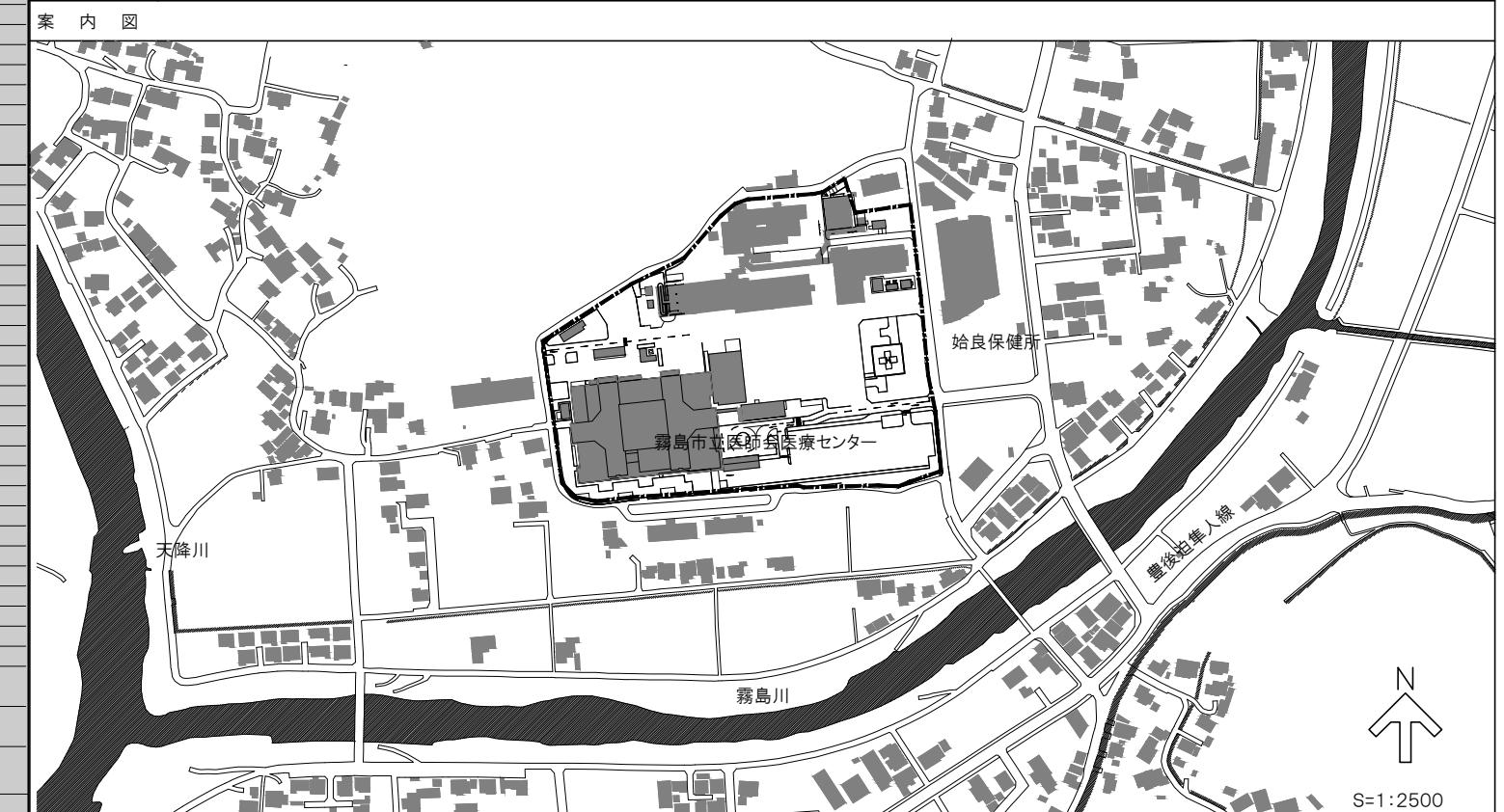
・選択記入事項は●のついたものを適用し、○印は適用しない

工事概要	
工事名称	R7霧島市立医師会医療センター外構1期整備工事(建築)
工事場所	地名地番 鹿児島県霧島市隼人町松永3320番地の一部 住居表示 一
工事種別	●新築 ●増築(○既存 ●棟別) ○改築 ○移転 ○用途変更 ○大規模の修繕 ○大規模の模様替 ○他()
工事内容特記	・既存施設を稼働しながらの工事(救急風除室の増築、キャノピー・駐輪場・救急用歩廊の新設)
工期	工事着手予定日 未定 工事完了予定日 未定
特定工程	(第1回) 年 月 日 基礎検査 (第2回) 年 月 日 2階梁及び床配筋検査
建築主	〒899-4394 鹿児島県霧島市国分中央三丁目45番1号 霧島市長 中重
代理者	〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神1丁目2番12号 電話 092-781-5211(代表 メットライフ天神ビル 株式会社 久米設計 九州支社 支社長 高崎 強)
設計者	〒135-8567 東京都江東区潮見2丁目1番22号 電話 03-5632-7811(代表 株式会社 久米設計 高橋 劍)
構造設計者	一級建築士 268997号 構造設計一級建築士 登録番号3451号 奥野
代表となる建築設備の設計に関し意見を聞いた者	建築設備士 登録第11C2-7112RZ 伊 建築設備士 登録第20C1-0615MK 下田
工事監理者	電話 未定
工事受注者	電話 未定
設計条件(敷地)	
都市計画区域	●都市計画区域内 (○市街化区域 ○市街化調整区域 ●区域区分非設定) ○準都市計画区域内 ○都市計画区域及び準都市計画区域外
防火地域	○防火地域 ○準防火地域 ●指定なし
その他の区域	○法第22条区域 ○法第52条第8項適用区域
地域・地区等	
道路	東側: 幅員: 7.5m(敷地と接する部分の長さ 178.96m) 北側: 幅員: m(敷地と接する部分の長さ m) 西側: 幅員: m(敷地と接する部分の長さ m) 南側: 幅員: m(敷地と接する部分の長さ m)
敷地面積	敷地面積 (1) 44,397.85m ² (2) m ² ※用途地域等がまとまる場合、各用途地域毎の面積を 用途地域等(指定なし)()()()() 建築基準法第52条第1項及び第2項の規定による建築物の容積率 (400 %)()()() 建築基準法第53条第1項の規定による建築物の建ぺい率 (70 %)()()() 敷地面積の合計 (1) 44,397.85m ² (2) m ² 敷地に建築可能な延べ面積を敷地面積で除した数値 400 % 敷地に建築可能な建築面積を敷地面積で除した数値 70 %
駐車場附置義務	○有(台) ●無
駐輪場附置義務	○有(台) ●無
公共下水道	●雨水／汚水分流 ○雨水／汚水合流
電柱支線移設	○有(位置出し、長さ等) ●無
道路切り下げ	○有(位置出し、長さ等) ●無
環境	日影規制 ○有 ●無 5m: 時間 10m: 時間 受影面レベル:GL+ 周辺規制値 5m: 時間 10m: 時間 受影面レベル:GL+ 騒音規制 ●有 ○無 敷地境界線上 (50)デシベル以下(朝 6時~8時) (60)デシベル以下(昼間 8時~ 19時) (50)デシベル以下(夕 19時~ 22時) (45)デシベル以下(夜間 22時~ 6時) 雨水流出抑制 ●要 ○不要 ※自主的な流出抑制。法的抑制は無し。 抑制方法 ●雨水貯留(必要雨水貯留量: 1250.36m ³) ○雨水貯留 排水規制 ●有 ○無 設計降雨量 とい設計用 : 150 mm/時間 敷地排水設計用 : 67.4 mm/時間 瞬間降雨条件 : 22.1 mm/10分 (適用範囲:各部屋根) 風荷重 基準風速(V ₀) : 36 m/sec 地表面粗度区分: ○I ○II ●III ○IV 再現期間 : ○50年 ●100年 ○ 年 積雪荷重 ●多雪区域 ○多雪区域 設計積雪量 : 30cm 単位重量 : ●20N/m ² /cm ○30N/m ² /cm 地下水位 TP+ 8.33~9.88m (GL-6.10~7.65m) 浸水対策 ○要 ●不要 想定冠水レベル : TP+ m 防水堤水レベル : TP+ m (防水板高さ: ○1階床高さ ○) 寒冷地対策 ○要 ●不要 凍結深度 : 地表土上げ面 m その他の凍害等対策と範囲は設計図による 塩害対策 ○耐塩仕様 ○重耐塩仕様
その他	開発許可申請 ○要 ●不要 土壤汚染対策法 ○適用 ○不適用 (汚染していないことを調査済み、形質変更届(法4条申請)を発注者より提出)

設計条件(建築物等)					
許容面積	建築面積(率) 容積(率)	m ² (%) m ³ (%)			
許容高さ	最低限度 : m		最高限度 : m		
耐震性能	耐震構造システム	<input type="checkbox"/> 耐震構造(付加制振) <input type="checkbox"/> 制振構造 <input type="checkbox"/> 免震構造			
	高耐震設計	<input type="checkbox"/> 採用 <input type="checkbox"/> 非採用			
	官庁基準の採否	<input type="checkbox"/> 採用 <input type="checkbox"/> 非採用			
	構造体	<input type="checkbox"/> I類 <input type="checkbox"/> II類 <input type="checkbox"/> III類			
	建築非構造部材	<input type="checkbox"/> A類 <input type="checkbox"/> B類			
	建築設備	<input type="checkbox"/> 甲類 <input type="checkbox"/> 乙類			
	重要度係数(I)	<input type="checkbox"/> 1.5 <input type="checkbox"/> 1.3 <input type="checkbox"/> 1.25 <input type="checkbox"/> 1.0			
	地域係数(Z)	<input type="checkbox"/> 1.2 <input type="checkbox"/> 1.0 <input type="checkbox"/> 0.9 <input type="checkbox"/> 0.8 <input type="checkbox"/> 0.7			
	設計用層間変形角 (構造体)	中地震時 : <input type="checkbox"/> 1/200 <input type="checkbox"/> 1/100 大地震時 : <input type="checkbox"/> 1/100 <input type="checkbox"/> 1/			
	エキスピアンション ジョイントの 必要クリアランス	地上部 : <input type="checkbox"/> 高さの1/50 <input type="checkbox"/> 高さの1/ 地下部 : <input type="checkbox"/> 30mm <input type="checkbox"/> 50mm <input type="checkbox"/> mm 免震層(水平) : mm 免震層(垂直) : mm			
必要クリアランスは設計クリアランスの最小値を示し、多層に及ぶ場合のこと。設計クリアランスは施工誤差等を考慮した上で得られる竣工時された寸法を示す。					
室内遮音目標値	室名() NC値()				
特殊な室の仕様					
建築物等の概要(事業全体)					
主要用途	建築基準法	用途区分記号			
	消防法	項()			
建築面積			申請部分	申請以外部分	合計
	建築面積		m ²	m ²	m ²
延べ面積			申請部分	申請以外部分	合計
	建物全体		m ²	m ²	m ²
	地階の住宅の部分		m ²	m ²	m ²
	エレベーターの昇降路の部分		m ²	m ²	m ²
	共同住宅の共用の廊下等の部分		m ²	m ²	m ²
	自動車庫等の部分		m ²	m ²	m ²
	備蓄倉庫の部分		m ²	m ²	m ²
	蓄電池の設置部分		m ²	m ²	m ²
	自家発電設備の設置部分		m ²	m ²	m ²
	貯水槽の設置部分		m ²	m ²	m ²
住宅の部分		m ²	m ²	m ²	
延べ面積		m ²	m ²	m ²	
容積率		%			
建築物の数	申請部分	棟	申請以外部分	棟	
			申請部分	申請以外部分	備考
建築物の高さ等	最高の高さ		m	m	
	階数	地下階	地上階	塔屋階	
	構造	造	一部	造	
	建築基準法第56条第7項の規定による特例の適用の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無				
適用がある場合の特例の区分: <input type="checkbox"/> 道路高さ制限不適用 <input type="checkbox"/> 基準地高さ制限不適用 <input type="checkbox"/> 北側高さ制限不適用					
駐車施設	○住宅用途設置台数		普通車用	台(内 機械式)	台
			小型車用	台(内 機械式)	台
			障害者用	台(内 機械式)	台
			合計	台(内 機械式)	台
			≥附置義務台数(台)		
	○非住宅用途設置台数		普通車用	台(内 機械式)	台
			小型車用	台(内 機械式)	台
			障害者用	台(内 機械式)	台
		合計	台(内 機械式)	台	
		≥附置義務台数(台)			
駐輪施設	○住宅用途設置台数		平置式	台(内 機械式)	台
			傾斜ラック式	台(内 機械式)	台
			2段式	台(内 機械式)	台
			合計	台(内 機械式)	台
			≥附置義務台数(台)		
	○非住宅用途設置台数		平置式	台(内 機械式)	台
			傾斜ラック式	台(内 機械式)	台
			2段式	台(内 機械式)	台
		合計	台(内 機械式)	台	
		≥附置義務台数(台)			
許可認定等					
検証法運用の有無 <input type="checkbox"/> 避難安全検証法 <input type="checkbox"/> 耐火性能検証法 <input type="checkbox"/> なし					
特定天井等 <input type="checkbox"/> 有(設計図による) <input type="checkbox"/> 無					
耐震性能に配慮する居室 <input type="checkbox"/> 有(設計図による) <input type="checkbox"/> 無					
CASBEEランク <input type="checkbox"/> OS <input type="checkbox"/> OA <input type="checkbox"/> OB+ <input type="checkbox"/> なし					
消防用水 (消防法施行令 第二十七条)		耐火建築物:	1階	2階	合計
		準耐火建築物:	1階	2階	合計
		その他の建築物:	1階	2階	合計
BEI値					

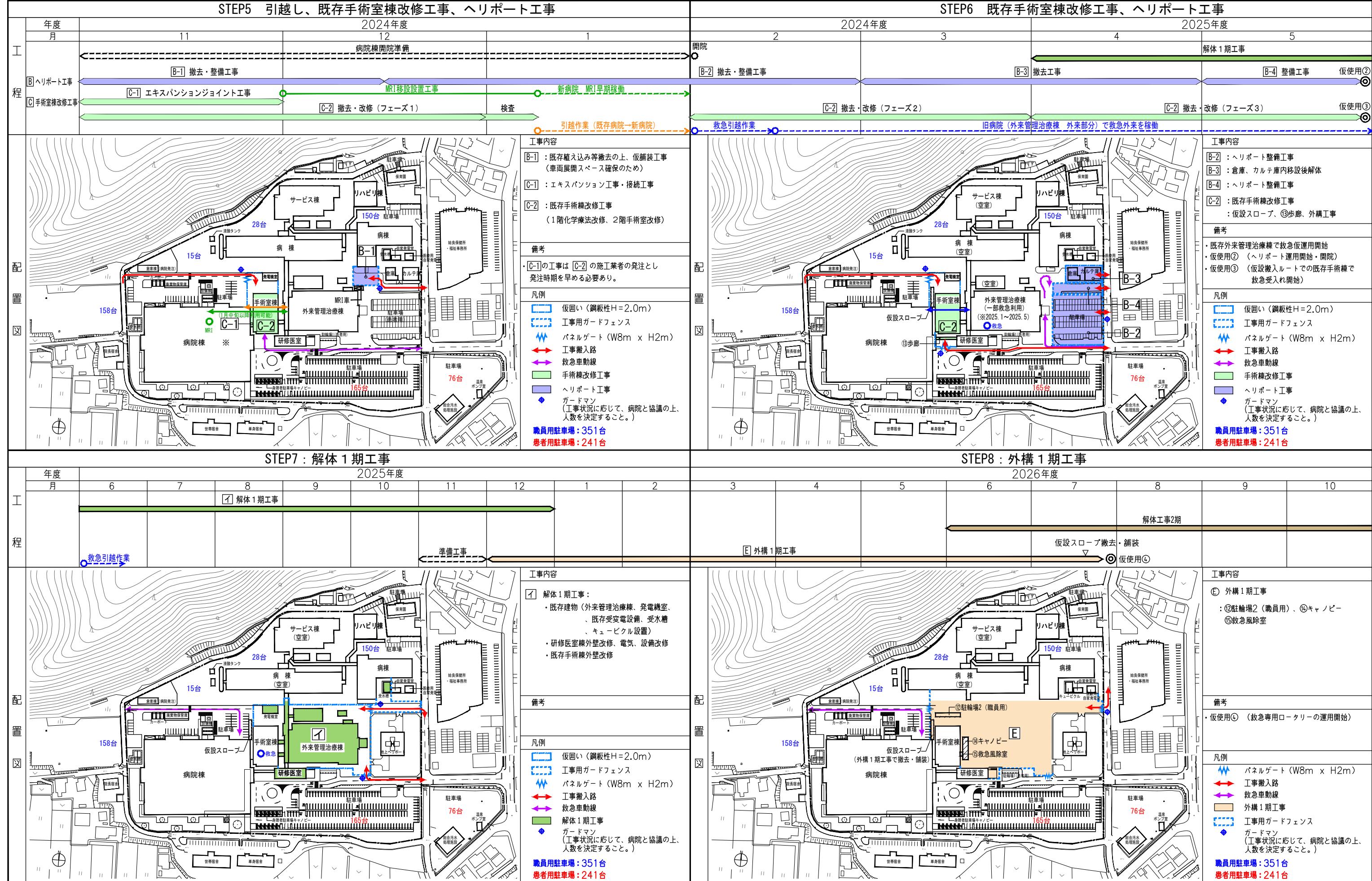
各建築物等の諸元		注: [] 工事対象となる新築建物 ・各棟の番号は配置図を参照のこと。											
建築物等の名称		本棟											
		②手術室棟	※	⑤病院棟	⑥救急風除室	⑥廃棄物保管庫	⑦設備棟	⑧受水槽ポンプ室	⑨身障者駐車場キャッパー	⑩カーポート	⑪駐輪場1(患者用)		
用途区分記号		08260(病院)		08260(病院)	08260(病院)	08990(その他)	08990(その他)	08990(その他)	08490(自動車庫)	08490(自動車庫)	08500(自転車駐輪場)		
構造		鉄骨造											
耐火区分		耐火建築物											
階数	地階を除く階数										1		
	地階の階数										0		
高さ	最高の高さ										4.11m		
	最高の軒の高さ										3.54m		
	主な階高										-		
	主な天井高										2.30m		
外部	主な屋根										ウレタン塗膜防水		
仕上概要	主な外装										AU(カラフル)100 繊維弾性吹付タイル		
	主な軒ウラ										なし		
特殊設備等													
確認の特例													
各階床面積													
確認 に確保	塔屋1階	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²		
	6階	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²		
	5階	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²		
	4階	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²		
	3階	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²		
	2階	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²		
	1階	m ²	m ²	22.50	m ²								
	ピット	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²		
	合計	m ²	m ²	22.50	m ²								
建築物等の名称	⑫駐輪場2(職員用)	⑬歩廊	⑭キャビニー	⑮救急用歩廊	⑯リハビリ棟※	⑰病棟※	⑱研修医室※	⑲医療用自家発電室					
用途区分記号	08500(自転車駐輪場)	08990(その他)	08990(その他)	08990(その他)	08260(病院)	08260(病院)	08260(病院)	08990(その他)					
構造	鉄骨造												
耐火区分	その他												
階数	地階を除く階数										1		
	地階の階数										0		
高さ	最高の高さ										2.46m		
	最高の軒の高さ										2.22m		
	主な階高										-		
	主な天井高										2.07m		
外部	主な屋根										熱線吸収ポリカーボネート板		
仕上概要	主な外装										-		
	主な軒ウラ										-		
特殊設備等													
確認の特例													
各階床面積													
備考	塔屋1階	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²		
	2階	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²		
	1階	43.36	m ²	m ²	0.00	m ²	0.00	m ²	m ²	m ²	m ²		
	地下1階	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²		
	合計	43.36	m ²	m ²	0.00	m ²	0.00	m ²	m ²	m ²	m ²		

※:改修建物を示す。(他はす



5 防災用照明器具 (第2編 1.5.1 ~ 1.5.4) [追加]		9 改修工事 (改修 第1編 1.4.3) [追加]		第3編 その他特記補足事項	
(a)構造一般及び部品 ○ 予備電源別置型の非常用照明は、分岐ボックスを設置し端末配線処理を行う。		(a)再使用機材 取外し後、再使用する機材 ○ 図示による ○ ○ ○ ○		1 結露対策 結露の恐れがある部分に設置するボックスは、断熱カバーなどの結露対策を行う。 また、配管接続部はシリコン系コーキング材を充填し、空気の流通を抑える。	
(b)光源 ランプの予備品 ● 現用数の5%、ランプ種別毎に最低1個(LED除く)を納入する。		(改修 第1編 1.5.2) [追加]		2 放射線防護措置 放射線使用室の壁に盤、ボックスなどを埋め込む場合、鉛入素材を用いる。 若しくは、その背面および側面に厚さ2mm以上の鉛により防護措置を行う。	
6 分電盤、制御盤、開閉器箱、端子盤等 (第2編 1.7.1 ~ 1.13.3) (第6編 1.4.1 ~ 1.4.3) [追加]		(改修 第1編 1.7.1~1.7.3) [追加]		3 気密性能確保 清浄度ISOクラス7以下のクリーンルームに設ける機器、ボックス、電線管等は汚染空気の流入を防ぐため、防塵パッキン及びシール材充填により気密性を確保する。	
(a)キャビネット 屋内設置 ● 鋼板製(● 指定色 ○ 標準色) 床下、ビット内等湿気、水気の多い場所 ● 溶融亜鉛めっき鋼板製 ○ ステンレス鋼板製 屋外設置 ○ 一般仕様(○ 指定色 ○ 標準色) 粉体塗装+アクリル塗装 または電着塗装+メラミン塗装以上 ○ 耐塩仕様(○ 指定色 ○ 標準色) 電着塗装 または亜鉛溶射(アクリル樹脂系塗装) ○ 重耐塩仕様(○ 指定色 ○ 標準色) 亜鉛溶射(アクリル樹脂系塗装) ● 溶融亜鉛めっき鋼板製 ○ ステンレス鋼板製 (b)導電部 ● 幹線はすべて端子台受けとし、幹線表示を行う。 ● 実験盤は分岐回路毎に、負荷接続端子台及び接地線を接続する端子台を設ける。 (c)機具類 ● 単相3線式電路に設ける400A以下の配線用遮断器は、中性線欠相保護機能付とする。なお、過電圧検出リード線の接続点は盤内の中性極導体の末端に近い箇所とする。 ● 電磁接触器は、図示なき場合瞬時励磁式とする。		4 遮音性能確保 軽量間仕切り壁に埋め込むボックス等の開口部には、壁材の遮音性能にあわせて遮音シートや遮音カバーなどにより、遮音対策を行う。			
7 外縁材料 (第2編 1.18.1 ~ 1.18.7) [追加]		(改修 第1編 1.8.1~1.8.6) [追加]		5 指定色塗装 露出天井やメッシュ天井上部などに布設する配管、支持材、ケーブルおよびケーブルラックは指定色カバー取付けや指定色塗装を行う。 下記機器類は、指定色塗装とする。対象エリアは図示による。 ○ 各種プレート ○ 照明器具 ○ 非常照明 ○ 誘導灯 ○ スピーカープレート ○ 監視カメラ ○ 映像音響機器 ○ 自動火災報知感知器 ○	
8 端子盤 (第6編 1.4.4 ~ 1.4.7) [追加]		(改修 第1編 2.13.1) [追加]		6 製造者名 納入する機器および製品は、原則として、表面に製造者名は表示しない。	
[読替]		(改修 第1編 2.2.3) [追加]		7 ウィスカ対策 電算関連室に設置する材料や機器は、ウィスカ対策が施された材質のものとする。	
(a)端子類 ● 端子板は実装とし、仕様は下記とする。 電話用端子板(● G形)、拡声用(● D形)、インターホン(● D形) その他(○ B形 ● D形 ○ E形 ○ F形 ○ G形) (b)UTPパッチパネルの形式は下記とする。 ● ブロック形 ○ モジュラ形(○ PoE機能無し ○ PoE機能付) (c)通信用SPD 滴水性能は共仕による ● カテゴリC2 (盤内機器:建物内雷サージ対応) ● カテゴリD1 (引込み口:直撃雷対応) (d)施工 ● 端子盤には、該当箇所を明記した系統図を納入する。 ● 通信配線は、両端末にマークチューブにより配線アドレス表示を行う。 ○ 情報通信用配線は、クローズ型19インチラックとパッチパネルを納品し、ケーブル試験まで本工事とする。 ● 中央管理室等に設ける総合盤は指定色とし、盤内に機器製作図(A4版)を収納できる棚を設ける。		8 OAフロアマーカー OAフロア内に収納している電源接続部や通信接続部をOAフロア床材表面にて認識出来るようにOAフロアマーカー等にて表示する。			
		9 点検口 各点検口の裏面には、点検対象物の機器種類・番号などを記載する。		10 保守工具等 保守工具とし、ベンチ、ドライバー、ニッパー、電工ナイフ 絶縁抵抗計(500V、1000V)、テスター、高圧用検電器、低圧用検電器、工具箱を納入する。	

■工事手順図 (参考図) ※□が外構図1期工事範囲



印正

KUME
KUMEKI 株式会社 久米設計

日付 2023.01.20
PA 井上裕豊
担当 斎藤陽一郎
担当 深井憲治, 下田健也
担当 山内浩紀

一級建築士登録番号 第266585号 高橋 剛
設備関係規定に適合することを確認した者:
設備設計一級建築士 建築士登録番号 第2294号 深井憲治

件名 R7霧島市立医師会医療センター外構1期整備工事(電気)

設計番号 0190403

図面名 工事手順図(参考図)01

図面番号 A1判 1/1500

A3判 1/3000

EA-006

■工事手順図（参考図）

工程	STEP9：解体2期工事							STEP10：外構2期整備工事～事業終了									
	年度	2026年度			2027年度			年度	2027年度			2028年度					
	月	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2

工事内容
① 解体2期工事：既存建物（サービス棟、病棟他）

備考

凡例

- 仮囲い（鋼板性H=2.0m）
- パネルゲート（W8m x H2m）
- 工事搬入路
- 救急車動線
- 解体2期工事
- ガードマン（工事状況に応じて、病院と協議の上、人数を決定すること。）

職員用駐車場：350台
患者用駐車場：241台

工事内容
① 外構2期整備工事：職員駐車場整備

備考

凡例

- 工事搬入路
- 救急車動線
- 外構2期工事
- 工事用ガードフェンス
- ガードマン（工事状況に応じて、病院と協議の上、人数を決定すること。）

職員用駐車場：350台
患者用駐車場：241台

記号	名称	摘要
幹線動力設備		
●	1号柱 (CP14m-19cm-500kg)	
PAS	高圧気中負荷開閉器 7.2kV 300A	ZCT・VT・LA内蔵SOG制御装置共 SUS製
□ A	ハンドホール (900x900x900 中耐蓋付)	H2-9 (R2K-60)
□ B	ハンドホール (900x900x900 重耐蓋付)	H2-9 (R8K-60)
■	埋設樅 (地中線) コンクリート製	
±	接地極	
△△△	別途制御盤	
☒ WP	サイン電源用ボックス	防水製
照明設備		
◎	街路灯	一般回路
◎	街路灯	発電機回路
◆	庭園灯	一般回路
△	スポットライト	一般回路
コンセント設備		
●	壁付コンセント (防水型)	カギ付
● D	壁付コンセント (防水型)	Dポール付、カギ付
● EV	EV・PHEV充電用コンセント (15A・20A 200V)	Dポール付、電気自動車充電用コンセント
● G	壁付コンセント (防水型)	発電機回路
共通		
-----	配管配線 露出	
-----	配管配線 地中埋設	
-----	架空 ケーブル配線	
-----	外構電源供給区分	

注記
 (1). 特記なき配管接線は下記による。

--- <i>G</i> ---	EM-EEF2.0-3C	(G22)
--- <i>35</i> ---	EM-CE3.5° -3C	(FEP30)
--- <i>55</i> ---	EM-CE5.5° -3C	(FEP30)
--- <i>8</i> ---	EM-CE8° -3C	(FEP30)
--- <i>14</i> ---	EM-CE14° -3C	(FEP30)

(2). RC造の壁面、及び柱面にはボックスは打込まない。(立上げ、引下け部分は露出金属配管と読みかえる。)

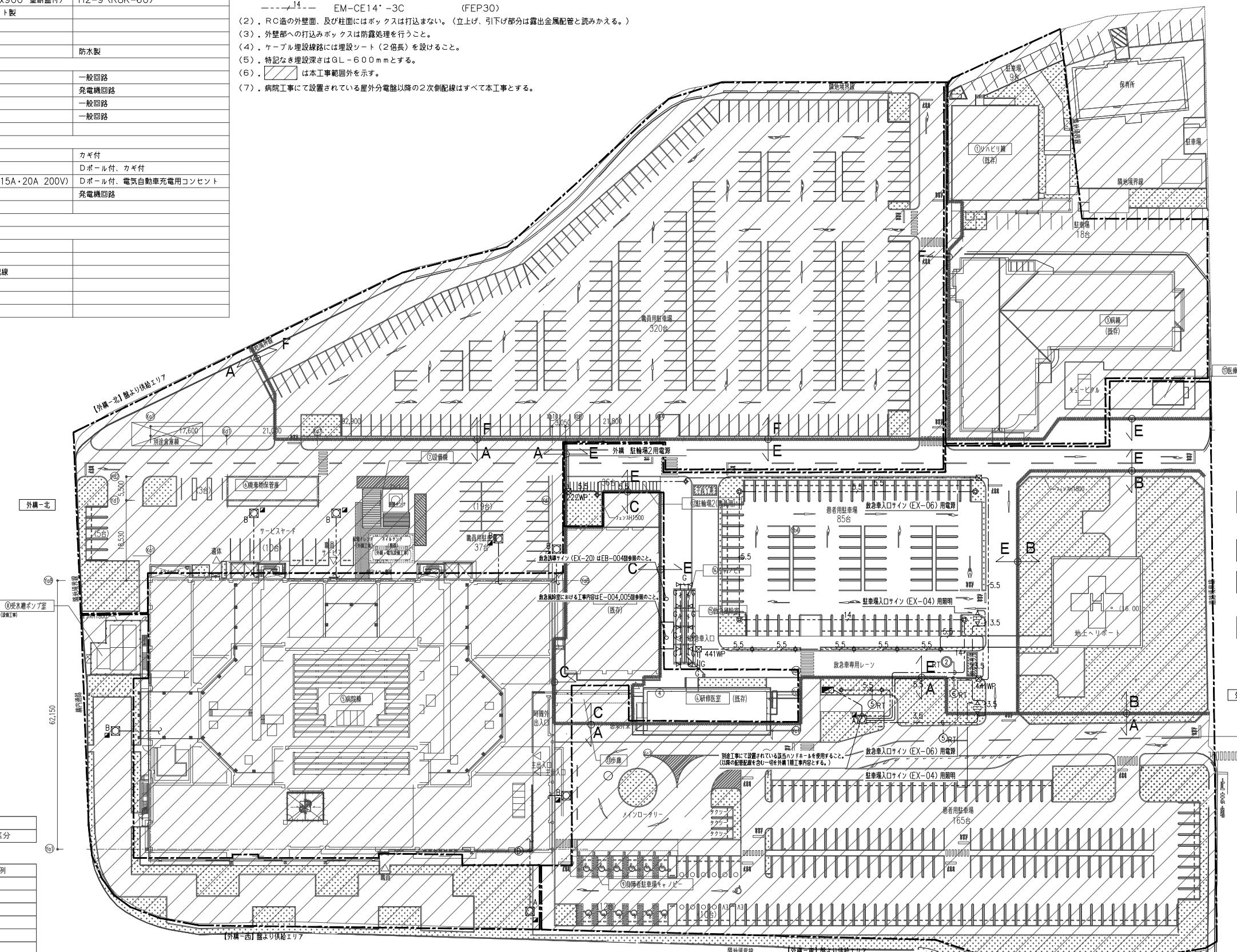
(3). 外壁部への打込みボックスは防露処理を行うこと。

(4). ケーブル埋設路には埋設シート(2倍長)を設けること。

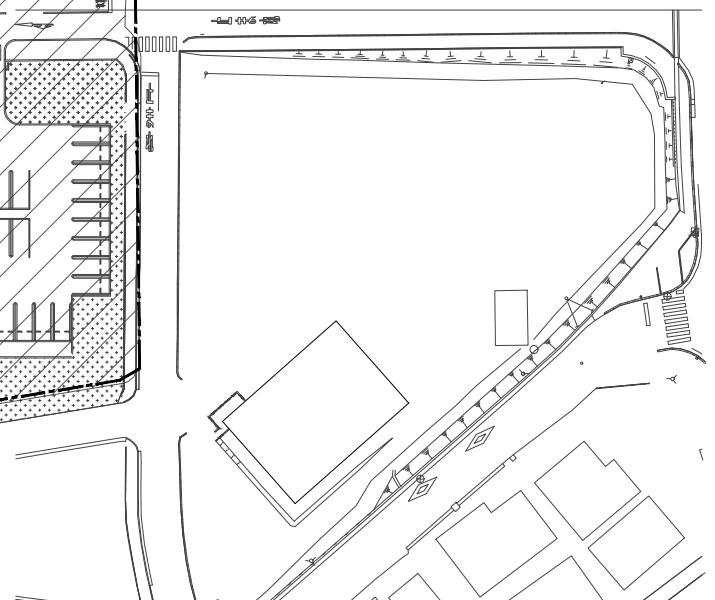
(5). 特記なき埋設深度はGL-600mmとする。

(6).  は本工事範囲外を示す。

(7). 病院工事にて設置されている屋外分電盤以降の2次側配線はすべて本工事とする。



Ⓐ 本線高圧引込	6.6KV EM-CET200 ^o	(FEP100) 立上り (G92)
本線高圧予備	—	(FEP100) 立上り (G92)
本線PAS警報	EM-CEE2 ^o -2C	(FEP30) 立上り (G16)
接地	EM-IE5.5 ^{x2}	(VE70)
	EM-IE14 ^{x2}	
	EM-IE100 ^{x4}	
Ⓑ 予備線高圧引込	6.6KV EM-CET200 ^o	(FEP100) 立上り (G92)
予備線高圧予備	—	(FEP100) 立上り (G92)
予備線PAS警報	EM-CEE2 ^o -2C	(FEP30) 立上り (G16)
予備線高圧引込	6.6KV EM-CET200 ^o	(FEP100)
予備線高圧予備	—	(FEP100)
予備線PAS警報	EM-CEE2 ^o -2C	(FEP30)
Ⓒ 本線総合ケア線高圧引込	—	(FEP80)
Ⓕ 外灯	①RT EM-CE3.5 ^o -3C	(FEP65)
	②RT EM-CE22 ^o -3C	
	②RT EM-CE22 ^o -3C	
	①RT EM-CE3.5 ^o -3C	
	②RT EM-CE3.5 ^o -3C	
Ⓖ 外灯	①RT EM-CE3.5 ^o -3C	(FEP30)
Ⓗ 廃油庫 保管庫 電灯幹線	EM-CET38 ^o	(FEP50) L101-1
	EM-CE8 ^o -3C	LG301-1
Ⓘ 設備庫 電灯幹線	EM-CE8 ^o -3C	(FEP50) L101-2
	EM-ETE22 ^o	LG301-2
Ⓛ PD-4	③ EM-CE3.5 ^o -4C	(FEP30)
	EM-CE3.5 ^o -4C	(FEP30)
	EM-CEEX ^o -5C	(FEP30)
Ⓛ CL-1	④ EM-CE3.5 ^o -3C	(FEP30)
	EM-CE3.5 ^o -4C	(FEP30)
Ⓛ R1 洗抹装置制御器	⑤ EM-CE3.5 ^o -3C	(FEP30)
	EM-CE5.5 ^o -3C E8 ^o	(FEP40)
Ⓜ 外灯	①RT EM-CE5.5 ^o -3C	(FEP50)
	②RT EM-CE3.5 ^o -3C	
コンセント (Ⓐ)	EM-CE3.5 ^o -3C	
Ⓝ 外構一 東 電灯幹線	EM-ETE150 ^o	(FEP80) L219
	EM-CET14 ^o	LG313
外構一 東 太陽光自立運転	EM-CTE60 ^o	(FEP65)
① ヘリボ ¹ 一般幹線	EM-CET60 ^o	(FEP65) LG322
ヘリボ ¹ 一般幹線	EM-CEES1.25 ^o -10C	(FEP50)
Ⓣ 外灯	②RT EM-CE3.5 ^o -3C	(FEP50)
コンセント (①)	EM-CE14 ^o -3C	
コンセント (②)	EM-CE14 ^o -3C	
⓪ 滤水器充電用電源盤 幹線	EM-CTE100 ^o	(FEP65) P308
⓫ 外構一 西 電灯幹線	EM-CTE22 ^o	(FEP80) L218
	EM-CTE38 ^o E22 ^{x2}	LG314
外構一 西 動力幹線	EM-CTE22 ^o	(FEP65) PC131
⓬ 外構一 北 電灯幹線	EM-CTE100 ^o E22 ^{x2}	(FEP80) L217
外構一 北 動力幹線	EM-CTE60 ^o	(FEP65) PC130
① PU-1 幹線	EM-FP5.5 ^o -3C E8 ^{x2}	(FEP40) P307
⓭ 外構一 西 電灯幹線	EM-CTE22 ^o	(FEP65) L218
	EM-CTE38 ^o	LG314
外構一 西 動力幹線	EM-CTE22 ^o	(FEP65) P307
外構一 北 電灯幹線	EM-CTE100 ^o	(FEP80) L217
外構一 北 動力幹線	EM-CTE60 ^o	(FEP65) PC130
PU-1 幹線	EM-FP5.5 ^o -3C	(FEP30) P307
⓮ 外灯	②RT EM-CE22 ^o -3C	(FEP65)
	②RT EM-CE22 ^o -3C	
	②RT EM-CE3.5 ^o -3C	
⓯ 別途倉庫棟 3,200V	—	(FEP40)
別途倉庫棟 3,200V	—	



特記事項

1. 主幹ブレーカの1次側に電源ランプ、SPD（警報接点付き）を設置すること。

SPD分離器は短絡電流を遮断できること。

2. 主幹ブレーカは中性線欠相保護機能付配線用遮断器とする。

3. 遮断器の仕様は特記なき場合は下記とする。

100V回路 : MCCB2P1EまたはELCB2P1E

200V回路 : MCCB2P2EまたはELCB2P2E

4. 負荷名称の区分は、下記による。

L : 照明 C : コンセント FC : FCUコンセント OA : OAコンセント OT : その他

5. 電力量計は、コンパクトデジタル式とする。

コンビニ系盤は検定付とし、それ以外は検定なしとする。

・WHM検定付 : (W1) ・WHM検定なし : (W2)

6. 表中のRとMgおよびマグネットの表記は下記による。

R : リモコン Mg : マグネット

7. リモコン回路がある盤は、電源系統単位でリモコンターンスを設けること。

8. SPDの仕様は下記とし、製造業者が指定する防護デバイス（回路遮断器等）を設置すること。

・クラスⅠSPD（警報接点付）: SPD1（屋外） ・クラスⅡSPD（警報接点付）: SPD2（屋内）

9. 各盤は実装数の20%の予備回路、10%のスペースを見込むこと。

10. 主幹開閉器はトリップ警報付とし、分歧回路の漏電警報、SPD故障警報等と合わせて各盤毎に外部警報出力を行う。

11. 盤のキャビネット形式等は下記より選択の上、適宜見積に反映すること。

キャビネット形式 - 分電盤種別 - 付加仕様1-付加仕様2

例 V - T - C - UND

*ビット形式

分電盤の種別

記号	形	式	記号	種	別	形	式	備	考
V	自	立形	T	一	般形	露	出形	ドア	のある構造
W	壁	掛形	D					ドア	のない構造
			H1	一	種耐熱形	露	出形	—	
			H2	二	種耐熱形	露	出形	—	

付加仕様1

付加仕様-2

記号	付加事項	記号	付加事項
C	指定色塗装	UD	上部ダクト付
		ND	下部ダクト付
(WP)	屋外防水型	UND	上下部ダクト付

*付加仕様1及び-2は、EPS,ESに設置されるもの以外で設置場所に応じて適切に見込む事。

12. 盤の材質や塗装色について図面に記載なき場合は、電気設備特記仕様書N^o. 3に準拠すること。

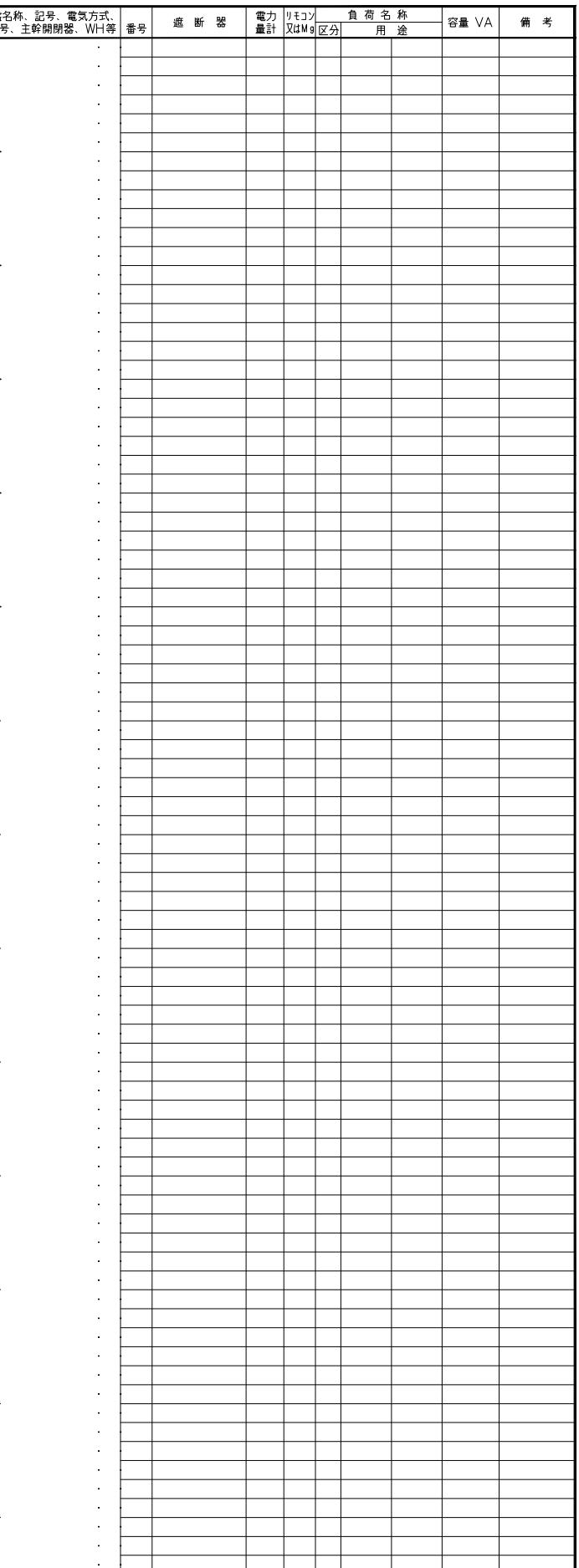
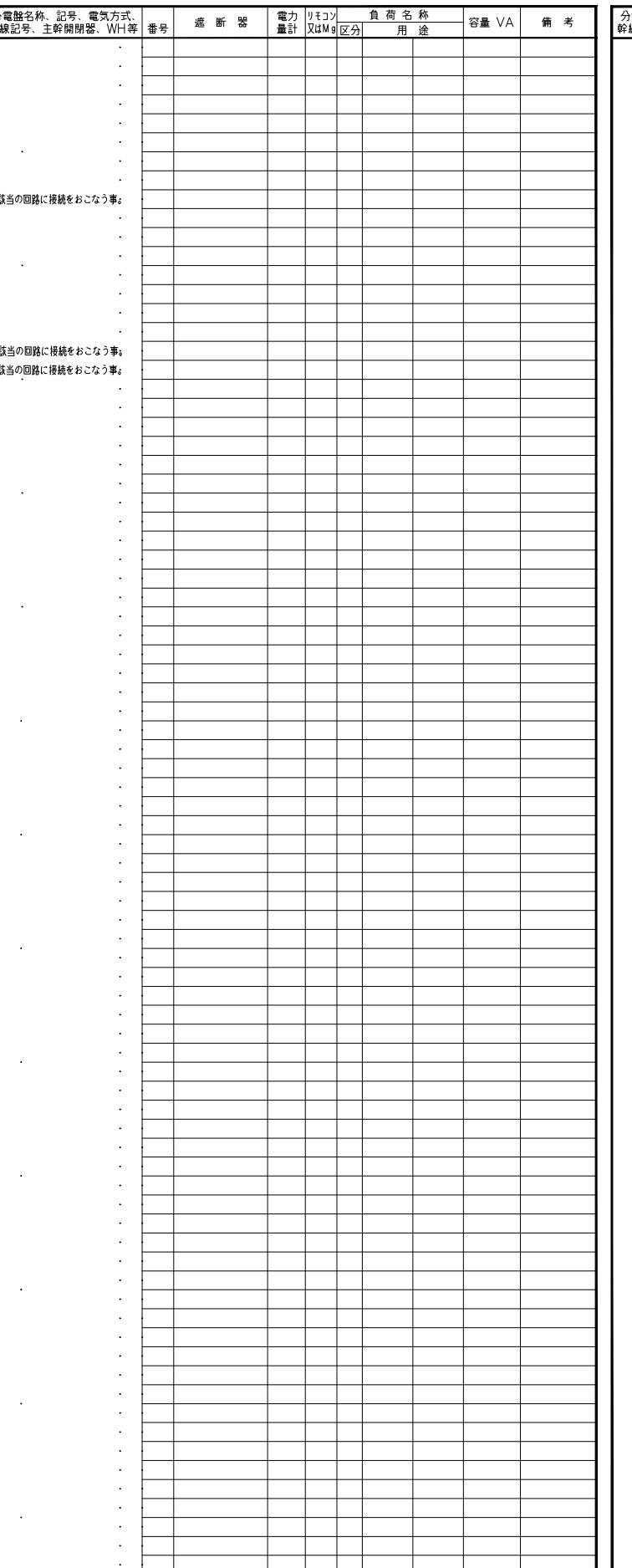
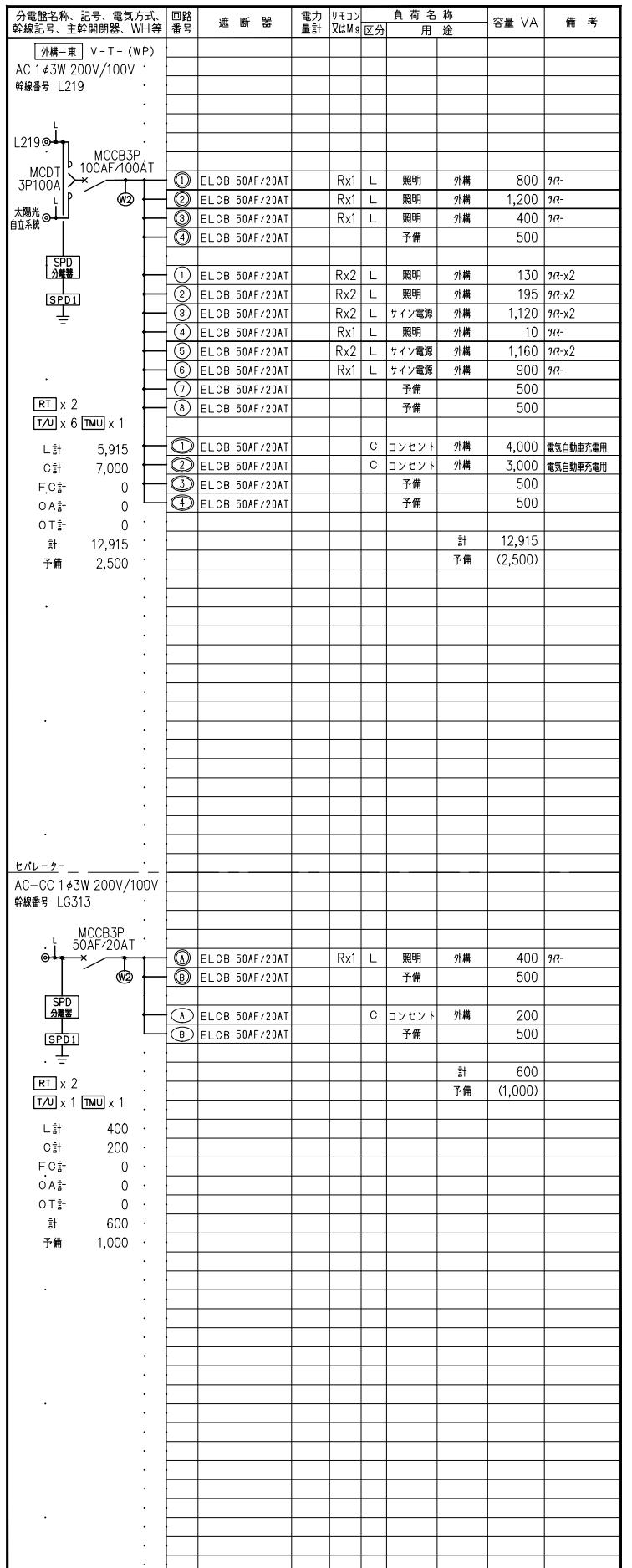
13. 照明制御機器は、表中に下記凡例にて明記する。盤内に機器を組み込むこと。

照明制御

[CPU]	伝送ユニット	[RT]	リモコントラヌス
[T/U]	リレー制御 T/U (4回路用)	[TMU]	年間プログラムユニット
[T/U]D	リレー制御 調光T/U		(ソーラータイマー機能付)

回路基準

回路番号	電源種別	負荷種別	摘要
△	AC 200V	実験機器、厨房機器等	
△	AC 100V	実験機器、厨房機器等	
△	AC-GC 200V	実験機器、厨房機器等	
△	AC-GC 100V	実験機器、厨房機器等	
①	AC 200V	コンセント回路	
①	AC 100V	コンセント回路	
①	AC-GC 200V	コンセント回路	
①	AC-GC 100V	コンセント回路	
△	AC-GC-UPS 200V	コンセント回路	
△	AC-GC-UPS 100V	コンセント回路	
①	AC 200V	電灯回路（防災負荷）	重要電源 主幹一次側からの分歧回路。
①	AC 100V	電灯回路（防災負荷）	重要電源 主幹一次側からの分歧回路。
①	AC 200V	電灯回路	
①	AC-GC 200V	電灯回路	
①	AC-GC 100V	電灯回路	
①	DC 100V	非常照明回路	

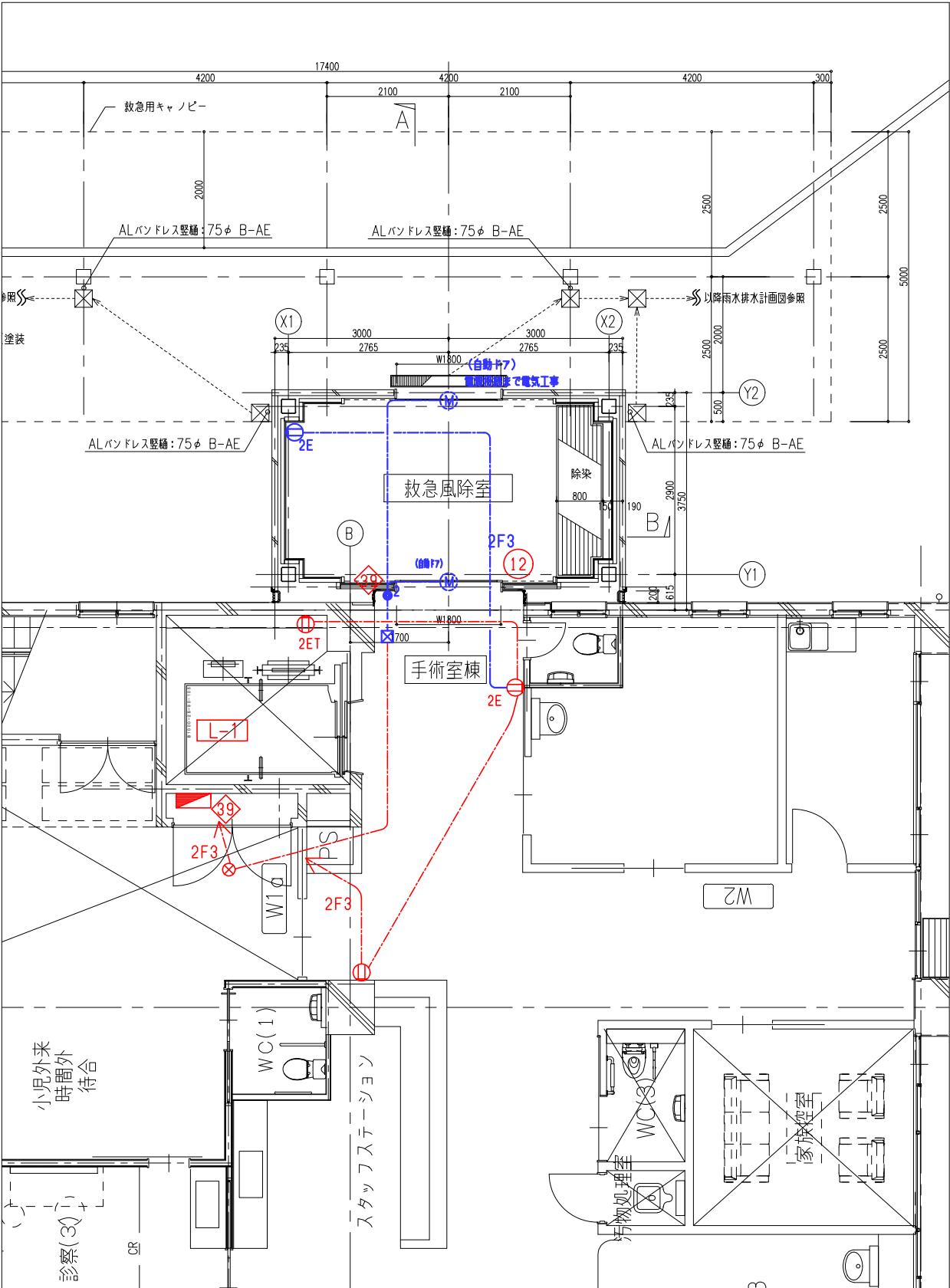
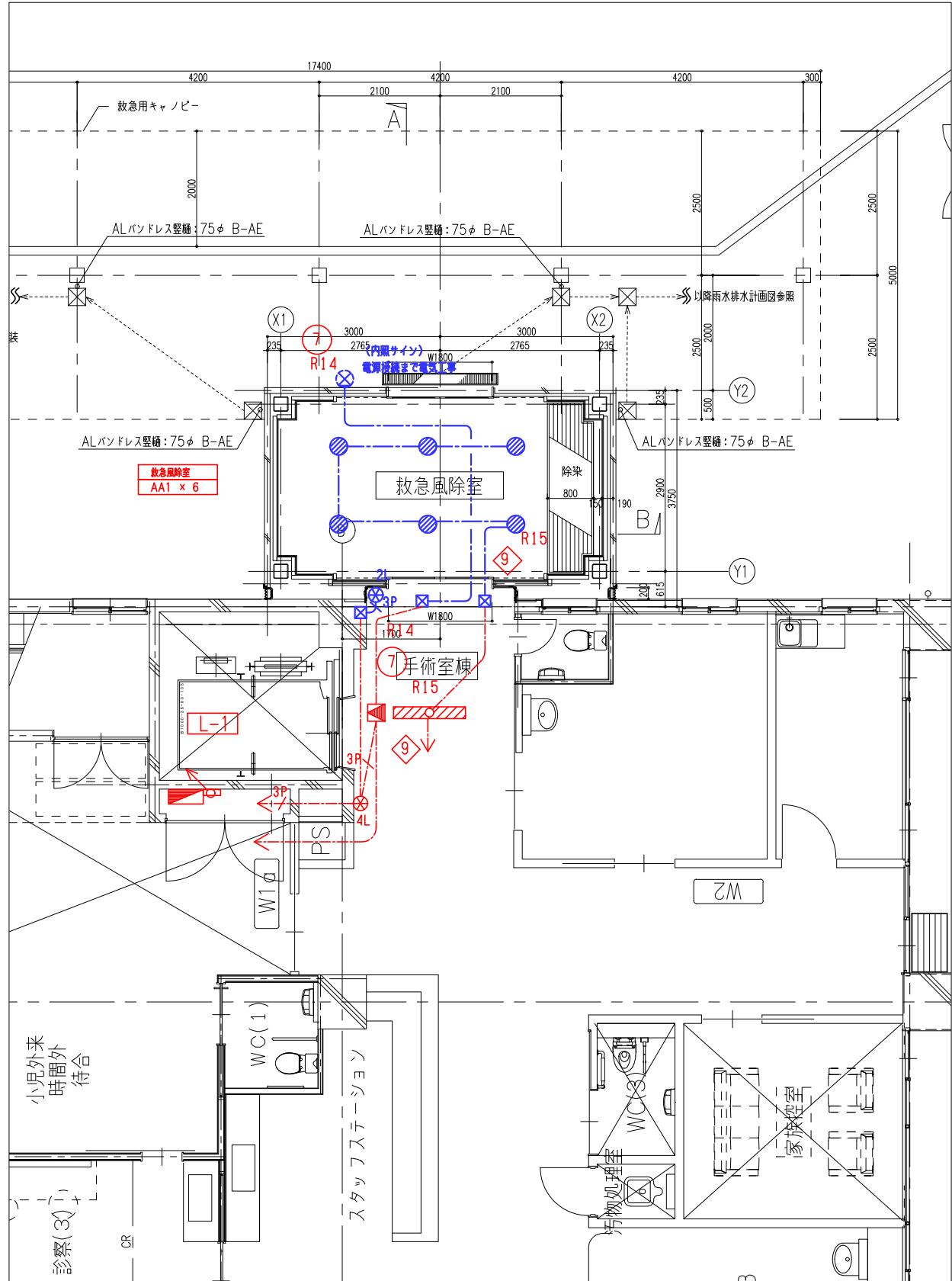


工事注記

*1 赤字実線で示す機器は既存手術室棟内の機器を示す。

*2 青字で示す内容を本工事内容として示す。

※3 渡り廊下解体時に手術室棟に残置した配線を利用して既存分電盤回路に接続する。



品号	名 称	備 要
電灯設備		
○	ダウナライト	斜線は発電機回路を示す。
◎ N.L.	リモコンスイッチ	回路数は、傍記による。
×	内照サイン電源ボックス	
コンセント設備		
①DE	埋込コンセント	大判型 2P+E15A×2
●2	埋込タップスイッチ (ガードプレート付)	大判型 2P15A
工具		
立上げ・引下げ		
天井こぼし	ケーブル配線	
配線配線	天井ひらいべい	
WP 123	ジョイントボックス (記載なきは100×100×100mm) 無:調節、WP:ステンレス防水型 佛記な大きさを示す 100×200×300mm	

注記事項（電灯設置）		
1. 平面図中、記入なき記線は下記による。		
—F2—	EEF1, 6-2C	(天井ころがし)
—	EEF1, 6-3C	(天井ころがし)
—2F2—	EEF2, 0-2C	(天井ころがし)
—2F3—	EEF2, 0-3C	(天井ころがし)
—3P—	EM-FCOPE1, 2-3P	(天井ころがし)
—//—	EM-AE1, 2-2C	(天井ころがし)
EEFケーブル保護部の配管サイズは下記による。		
EEF1, 6-2C (PF16), EEF1, 6-3C (PF22)		
EEF1, 6-20x2 (PF22), EEF1, 6-20+3C (PF22)		

注記事項（コンポーネント設備）	
1. 平面図中、記入なき記号は下記による。	
—〃—	EW-IE2, 0x2 (PF16)
—〃\—	EW-IE2, 0x2, E1, 6 (PF16)
—〃/\—	EW-IE2, 0x4, E1, 6 (PF16)
—2F2—	EW-EEF2, 0-2C (天井こうがし)
—2F3—	EW-EEF2, 0-3C (天井こうがし)

入退室管理設備 凡例		
記号	名 称	備 考
[HIS]	センサ装置	
[HIC]	クライアント装置	
[LIP]	連動コントローラ	
[IDC4]	IDコントローラ4	4扉用
[IDC8]	IDコントローラ8	8扉用
[IDCE4]	IDコントローラ4	エレベータご内カーボリーダ用
[IDCE8]	IDコントローラ8	エレベータご内カーボリーダ用
[C]	非接触カーボリーダー	テンキー無
[C]NP	非接触カーボリーダー	防滴仕様、テンキー無
[E]	電気式鍵	建築手配
[t]	インターホン設備	電気工事手配
[C]	電源 (AC/GC100V D種接地)	電気工事
nP /	EM-CPEE-0, 9φ-nP	(伝送距離は150m以内)
S-nP /	EM-CPEE-S0, 9φ-nP	(伝送距離は150m以内)
CV2 /	EM-CE/F2*-3C	
T /	UTPエコケーブル-Cat5e	(伝送距離は100m以内)

自動火災報知設備 凡例		
記号	名称	備考
(S)	煙感知器	2種

注記事項（自動火災放煙設備）
1. 平面図中、記入なき配線は下記による。
— H — EW-HP1, 2x20 (PF16)

※破線部は別途工事を示す

入退室管理設備 配線凡例	
記 号	線 種
	EM - CPEE - S0, 9Ø - 5P
	EM - CPEE - 0, 9Ø - 3P

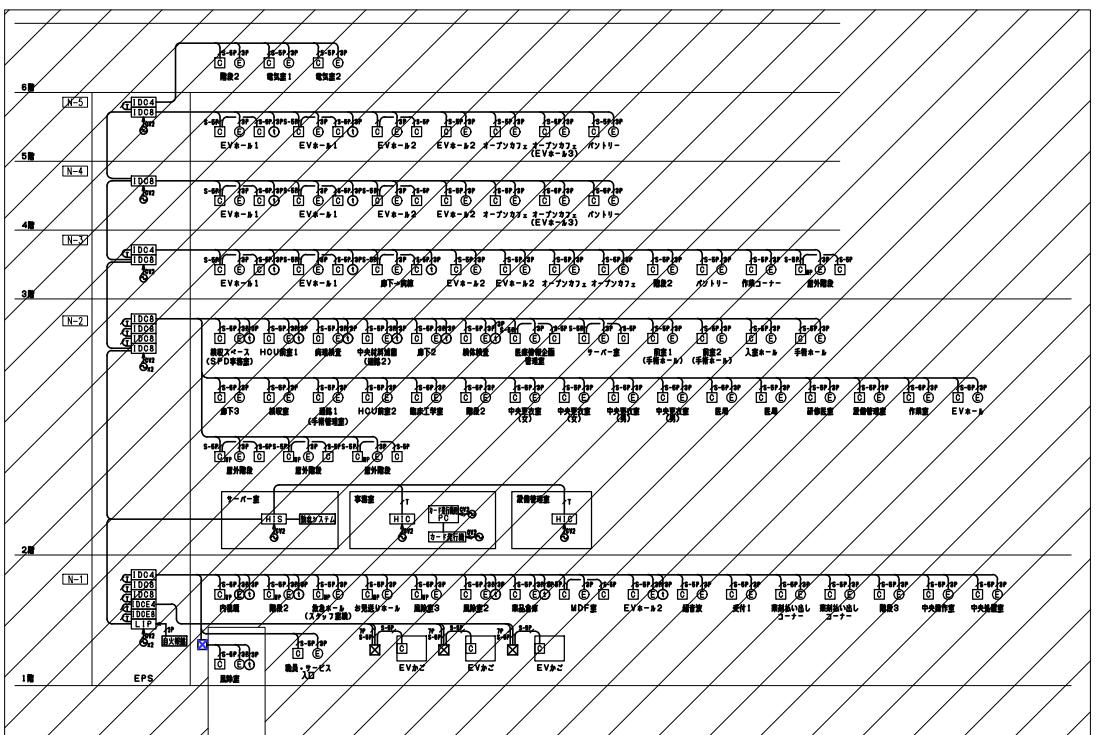
工事注記

* 1 赤字実線で示す機器は既存手術室棟内の機器を示す。

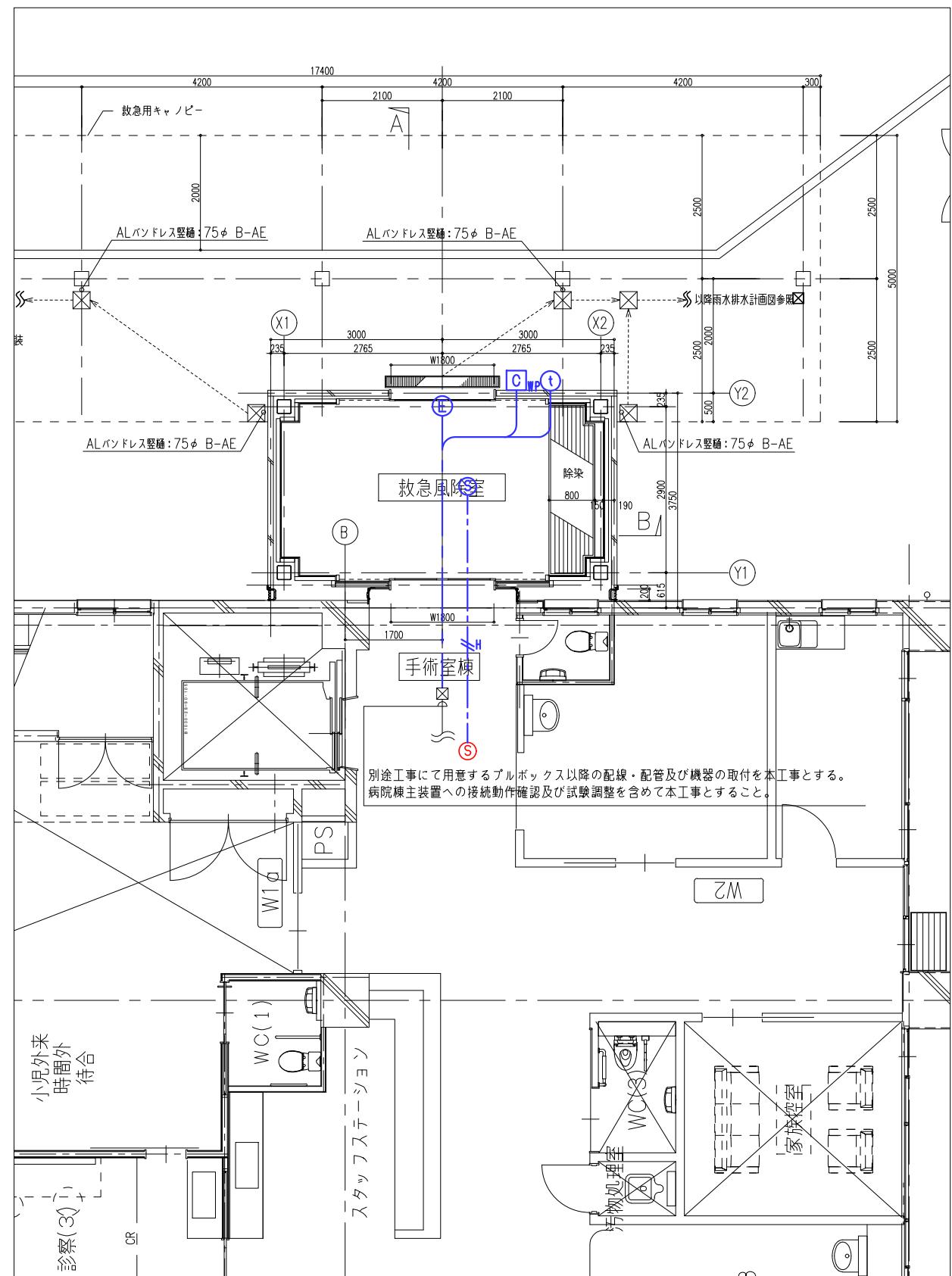
*2 青字で示す内容を本工事内容として示す。

※3 既存システムに接続する機器は試験調整及び対向試験を行うこと

システム系統図



※ハッチ対象機器は本工事外範囲外を示す。



給油口改修工事概要

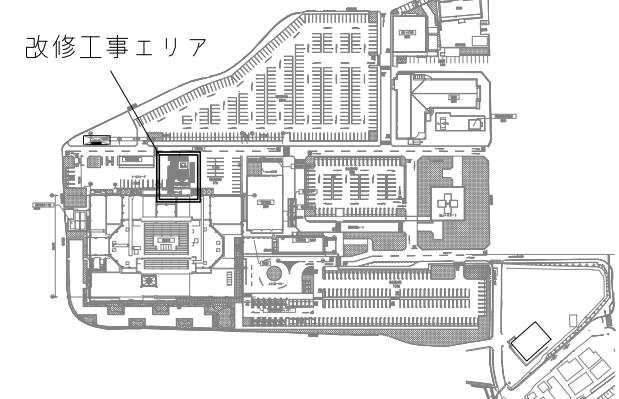
本工事は既存の燃料供給用の給油口を改修するものである。

病院稼働中に併し、改修工事に当たっては監督職員及び監理者、病院関係者と協議の上、改修工事時期・騒音などに留意する事。

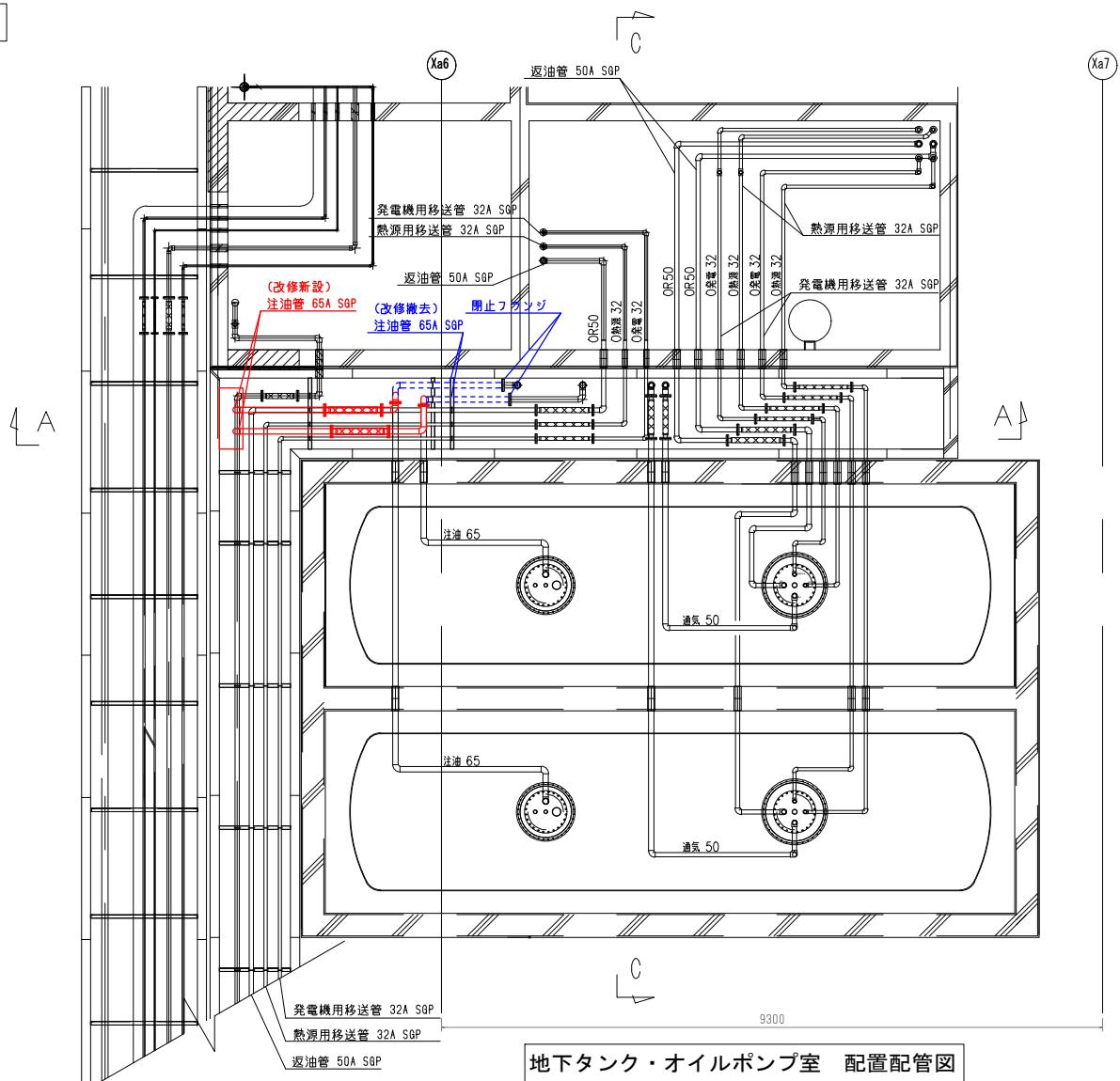
改修工事に伴う、所轄消防機関への届出及び、工事申請書作成及び申請費用も本工事に含める事。

図面上、赤字で示すものは改修新設機器・配管を対象とし、青字で示すものは撤去工事の対象とする。その他は既存設備等を示すものとする。

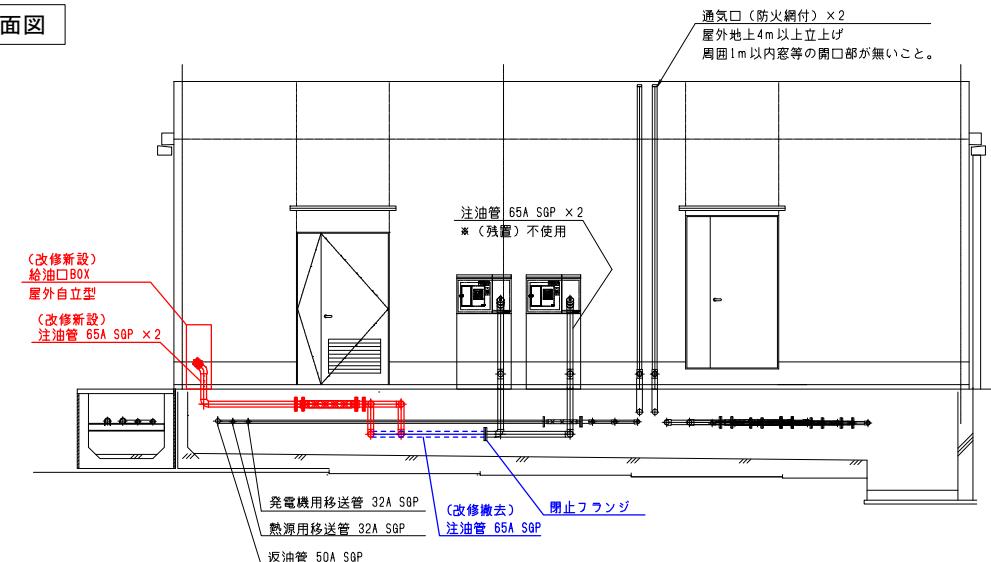
[敷地配置図]



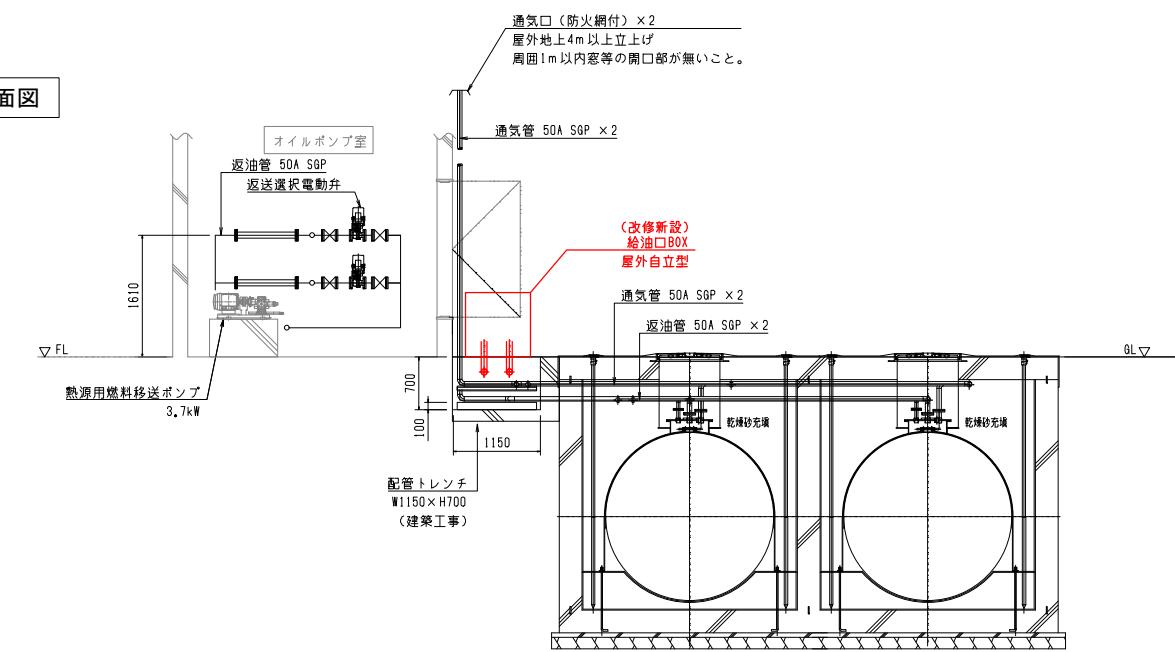
外構平面図



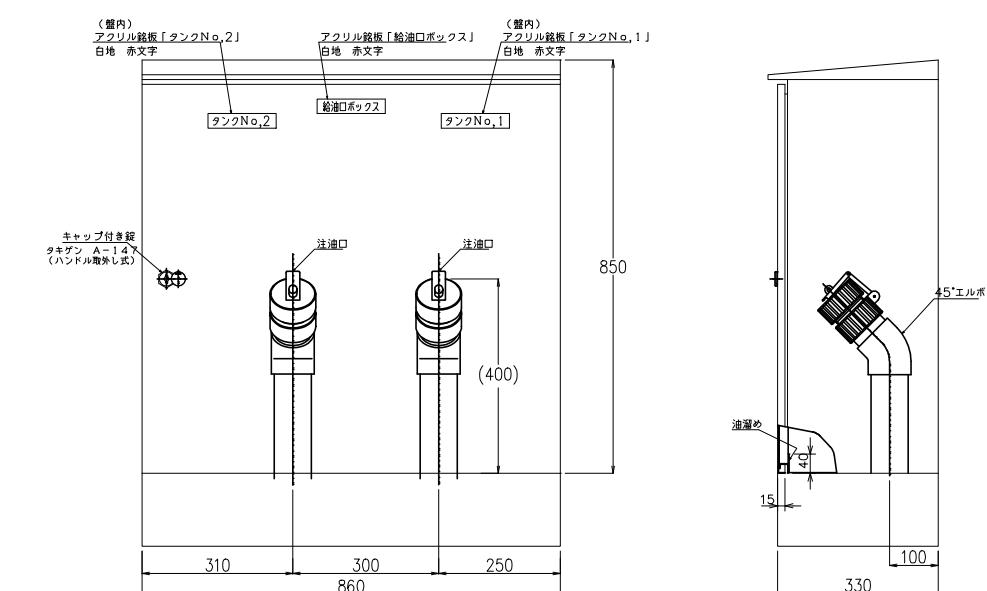
A-A断面図



C-C断面図



参考機器姿図 [scale=NC]



廊下 (7)	CH=2, 700
FRS27-321PHx6	
医師検査 (2)	CH=2, 700
FRU11-P454PNx1	
SP-13 (FPL18W-1EL) x1	
診察室 (1)	CH=2, 700
FRS26-322PHx2	
診察室 (3)	CH=2, 700
FRS26-322PHx2	
待合ホール (1)	CH=2, 700
FRU11-P123x2	
階段下仓库	CH=2, 700
FBS5-321PHx1 ガード付	
診察室 (4)	CH=2, 700
FRS26-322PHx2	
WC (2)	CH=2, 500
FSS9-161PHx1	
風除室 (1)	CH=2, 700
FRU11-P414PNx4	
鏡検室	CH=2, 700
FSS6B-322PHx3	
WC (3)	CH=2, 500
FSS9-161PHx1	
風除室 (2)	CH=2, 700
SP-6 (FHP23W-4PN) x2	
被服WC	CH=2, 500
SP-7 (FL15W-1) x1	
被服室	CH=2, 500
SP-7 (FL15W-1) x1	
廊下 (2)	CH=2, 500
FRS27-321PHx2	
屋外	CH=2, 500
SP-12 (HF16W-1) x1	

注記事項

1. 平面図中、記入なき配線は下記による。

—□— EM—EEF1. 6—2C (天井ころがし)
 —— EM—EEF1. 6—3C (天井ころがし)
 —□□— EM—EEF2. 0—2C (天井ころがし)
 —□□— EM—EEF2. 0—3C (天井ころがし)
 —□— EM—FCPEE1. 2—3P (天井ころがし)
 —#— EM—AE1. 2—2C (天井ころがし)

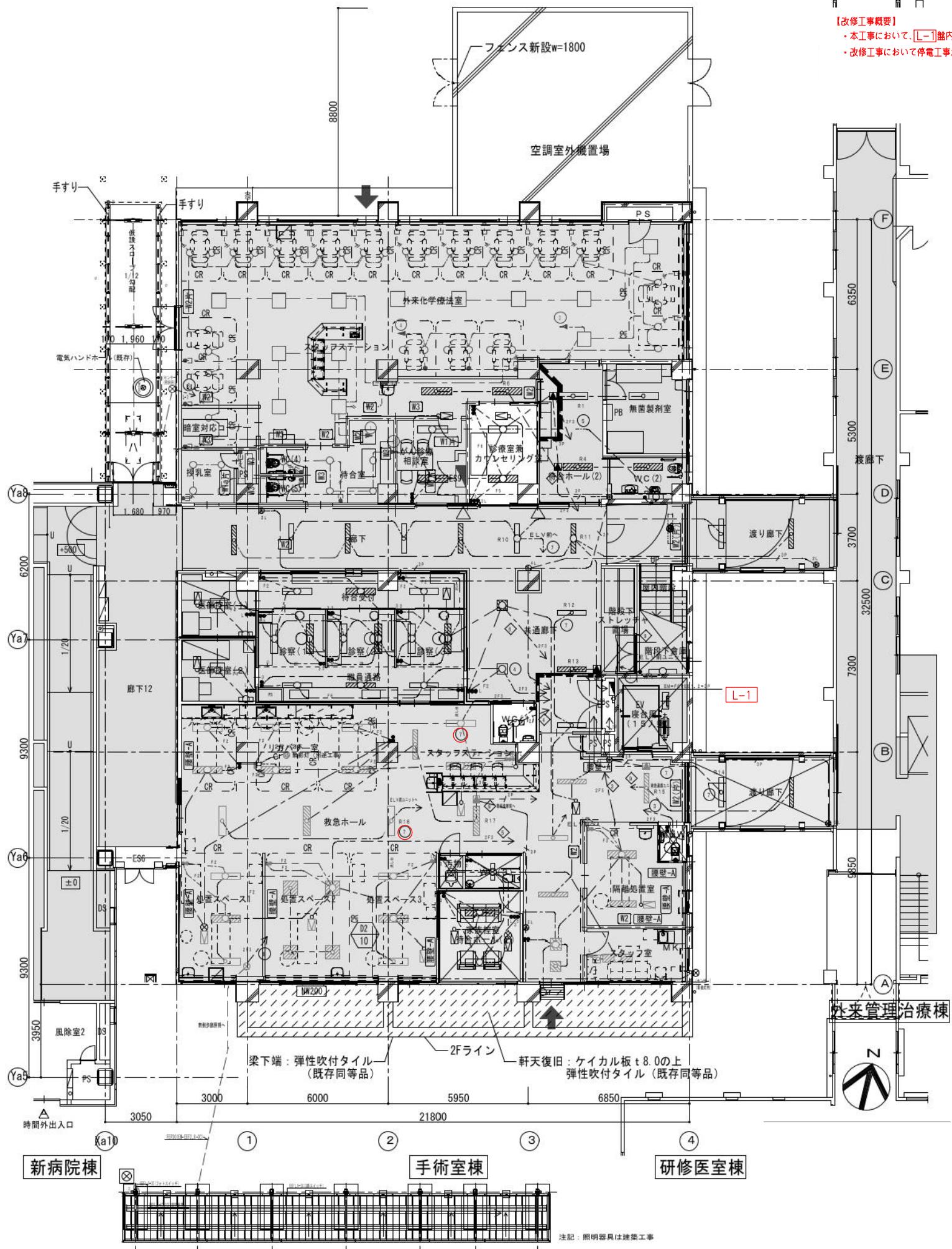
位置ボックス有り

位置ボックス無し

EEFケーブル保護部の配管サイズは下記による。

EEF1. 6—2C (PF16) , EEF1. 6—3C (PF22)

EEF1. 6—2C×2 (PF22) , EEF1. 6—2C+3O (PF22)



【改修工事概要】

- ・本工事において、〔L-1〕盤内にてAC回路番号⑦の照明回路をGC回路番号⑮の予備回路へ替えること。
 - ・改修工事において停電工事が発生する場合には、監督職員・監理者及び病院関係者と協議の上、日時等を調整すること。

参考既存分電盤図 L-1

L-1	備考D	163W AC Φ CET150H WCCB3P100/50	L-2 A.C.	9,997
		MCCB 3P 225/150		
1, 970	夜間受付室内機	220V ①	予備	1,000
873	直営受電灯	220V ②	待合ホール (1) 待電灯	1,256
654	駅舎中予約センター受電灯	220V ③	生理検査室電灯	1,104
1, 032	廊下受電灯	220V ④	外灯	375
490	便所受電コンセント	220V ⑤	風除受電コンセント	500
1, 005	WC (3) コンセント	220V ⑥	廊下電コンセント	400
300	待合ホール (2) コンセント	220V ⑦	計画受電機器コンセント	420
405	駅舎受電機器コンセント	220V ⑧	廊下 (1) コンセント	400
495	駅舎中予約センター受電コンセント	220V ⑨	駅舎中予約センター受電コンセント	400
300	駅舎中予約センター受電コンセント	220V ⑩	駅舎中予約センター受電コンセント	600
1, 000	予備	220V ⑪	予備	1,000
1, 000	予備	220V ⑫	予備	1,000
9, 058	VA			
		外灯回路は24時間タイマー絶続とする。		
		193W GC Φ CET200H		
90	導導灯	220V ⑬	駅舎受電導導灯	150
100	駅舎受電機器	220V ⑭	ナースコール機器	50
		MCCB 3P 400/250		
490	救急受電機器内機	200V ⑮	予備	1,000
950	夜間受付電灯	200V ⑯	救急受電機器電灯	1,114
1, 178	直営室 (1) 作電灯	200V ⑰	計画受電灯	1,456
1, 470	駅舎中予約センター受電灯	200V ⑱	生理検査室電灯	1,292
654	廊下受電灯	200V ⑲	非常照明	
1, 200	夜間受付コンセント	200V ⑳	夜間受付コンセント	1,240
1, 005	駅員WCコンセント	200V ㉑	WC (1) コンセント	1,000
1, 005	WC (2) コンセント	200V ㉒	計画受電コンセント	900
1, 205	救急受電機器コンセント	200V ㉓	救急受電機器コンセント	900
910	救急受電機器コンセント	200V ㉔	救急受電機器コンセント	1,205
905	計画受電 (4) コンセント	200V ㉕	計画受電 (3) コンセント	900
1, 200	計画受電 (2) コンセント	220V ㉖	計画受電 (1) コンセント	900
1, 200	計画受電 (5) コンセント	220V ㉗	スタッフ用機器コンセント	1,500
1, 500	生理検査室コンセント	220V ㉘	生理検査室コンセント	1,200
1, 500	生理検査室コンセント	220V ㉙	生理検査室コンセント	1,300
1, 200	生理検査室コンセント	220V ㉚	生理検査室コンセント	1,205
1, 200	生理検査室コンセント	220V ㉛	生理検査室コンセント	1,200
1, 505	調剤受品品目コンセント	220V ㉜	調剤受品品目コンセント	1,500
1, 000	直営室 (1) 自動ドア	220V ㉝	風除 (2) 自動ドア	1,000
1, 000	直営室下自動ドア	220V ㉞	リモコントラックス	
1, 000	予備	220V ㉟	予備	1,000
1, 000	予備	220V ㉟	予備	1,000
1, 000	エコー室コンセント	220V ㉟	エコー室コンセント	1,000
1, 000	エコー室コンセント	220V ㉟	エコー室コンセント	1,000
1, 000	エコー室コンセント	220V ㉟	予備	1,000
1, 000	予備	220V ㉟	予備	1,000
1, 000	HUB用コンセント	220V ㉟	予備	1,000
SP	SP	220V ㉟	SP	SP

記号	名称	仕様
	照明器具	姿図参照 (商用回路)
	"	姿図参照 (免電機回路)
	"	姿図参照 (商用回路)
	"	姿図参照 (商用回路)
	"	姿図参照 (免電機回路)
	"	姿図参照 (商用回路)
	"	姿図参照 (免電機回路)
	換気扇	ダクト用・別途機械設備工事・電源本工事
	リレーユニット	T/U 付 6A・4 回路用・天井用
	セレクタスイッチ	AC24V 回路数は傍記による
	埋込タンプラスイッチ	大角型 1P15A
	"	" 3W15A
	"	" 1P4A 確認灯内蔵
	"	" 3W4A 確認灯内蔵
	調光スイッチ	スライド式 HF15A 用
	ジョイントボックス	カバーブレート付
	ジョイントボックス	

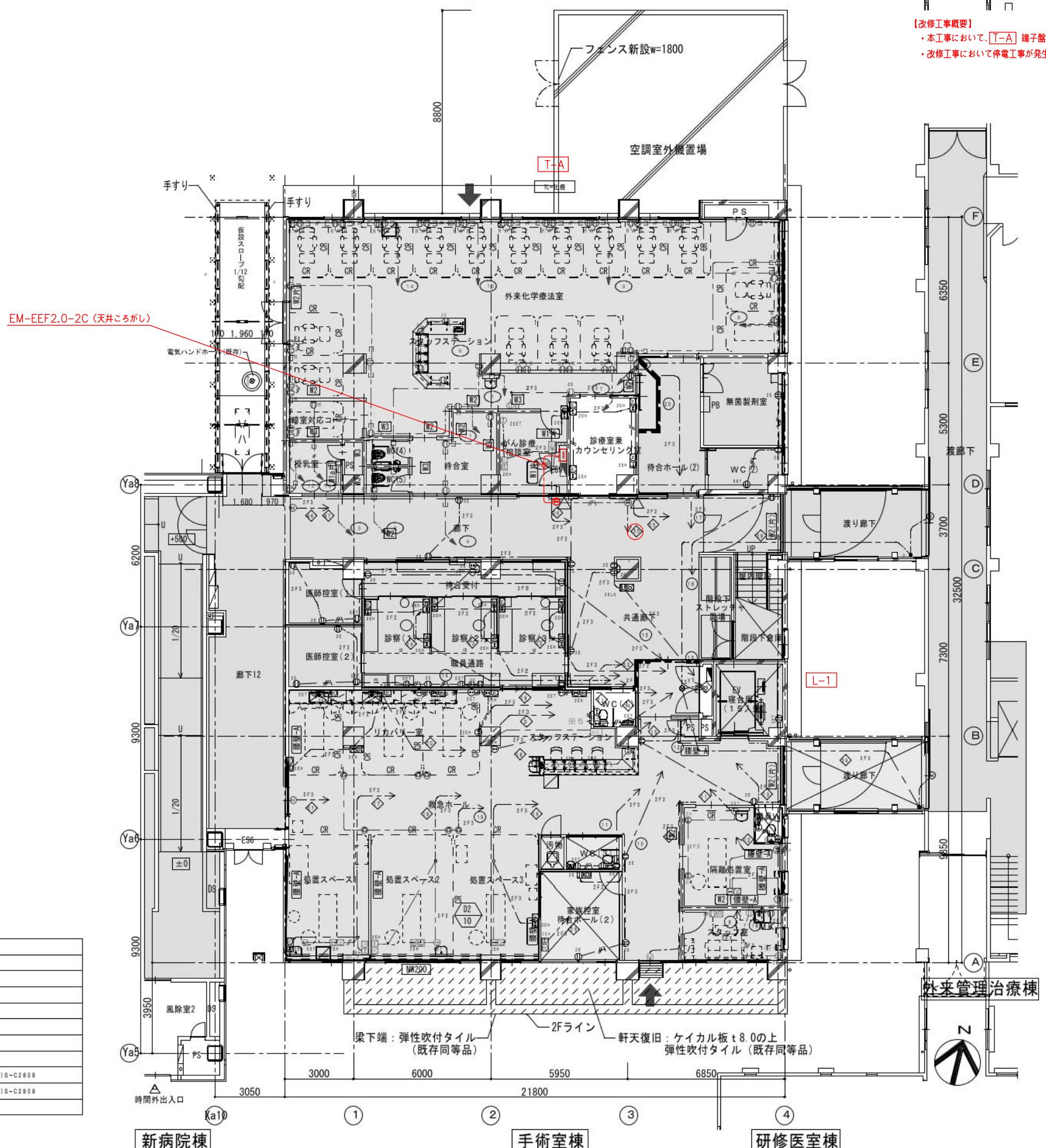
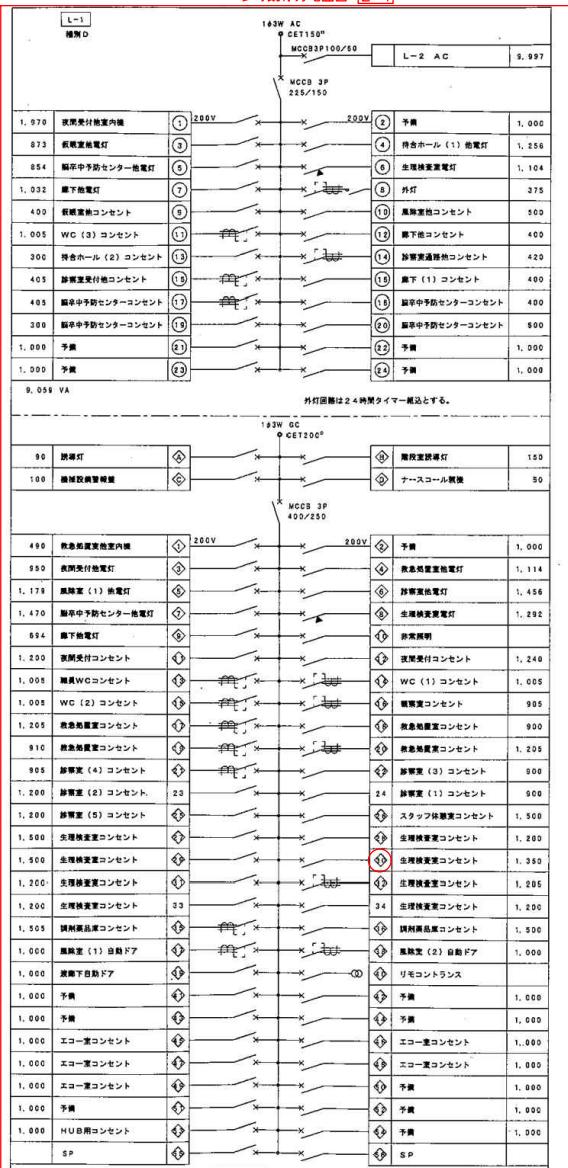
訂正

KUME
SEKKI 株式会社 久米設計

【改修工事概要】

- ・本工事において、**T-A** 端子盤の監視カメラ用HUB電源を既存 **30** 回路のコンセントに接続を行うこと。
 - ・改修工事において停電工事が発生する場合には、監督職員・監理者及び、病院関係者と協議の上、日時等を調整すること。

参考既存分電盤図 L-1



注記事項	
1. 平面図中、記入なき配線は下記による。	
— # —	EM-1E2, 0×2 (PF16)
— #Y —	EM-1E2, 0×2, E1, 6 (PF16)
— #/Y —	EM-1E2, 0×4, E1, 6 (PF16)
— #E2 —	EM-EEF2, 0-2C (天井ころがし)
— #E3 —	EM-EEF2, 0-3C (天井ころがし)
EEFケーブル保護前の配管サイズは下記による。	
EEF2, 0-2C (PF16), EEF2, 0-3C (PF22)	

記号	名称	仕様	
⑪ZE	埋込コンセント	大角型 2P1E15AX2	商用回路
⑪ZET	"	" 2P1E15AX1+ET	
⑫	"	" 2P1E15AX1	発電機回路
⑬ZE	"	" 2P1E15AX2	
⑭ZELK	"	" 2P1E15AX2	抜け止め
⑮ZET	"	" 2P1E15AX1+ET	
⑯ZET	"	" 2P1E15AX2+ET	
ZEH 	複合コンセント	" 2P1E15AX2	医用・接地端子 JIS-C2808
ZELK 	"	" 2P1E15AX2	抜け止め 医用・接地端子 JIS-C2808